

Cente Technical Information

発行番号	001-0021	Rev	第1版	発行日	2009/08/26
題名	ワーク用バッファ(メモリプール)の過剰返却部について				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente FileSystem Ver5.50~Cente FileSystem Ver5.63				
関連資料	なし				

【詳細】

連続未使用クラスタ検索(FAT32)機能を有効にした状態でのマウント処理において、
獲得したワーク用バッファの返却を二重に行なっている箇所があり、その結果OSの誤動作を招く。
OSの可変長メモリプールを使用した環境上で、連続未使用クラスタ検索(FAT32)機能を有効にした場合に発生する。

【回避方法】

■運用での回避方法

連続未使用クラスタ検索(FAT32)機能を無効にする。
(fs_cfg.h #define FS_FREE_CLUST 0)

■プログラム修正による回避方法

fs_init.c の以下の関数に修正が必要です。
・ct_ini_disk_sect()
・ct_mount_disk()

【 <fs_init.c> ct_ini_disk_sect() 】

221行目

《 削除 》

```
if(fs_free_work(work_buf) != CT_OK)
    return fs_er(CT_RELMEMORY, NULL);
```

【 <fs_init.c> ct_mount_disk() 】

365行目

《 削除 》

```
if(fs_free_work(work_buf) != CT_OK)
    return fs_er(CT_RELMEMORY, NULL);
```

以上